

「憲法 9 条にノーベル平和賞を」

実行委員会ニュース No23

2023-12-25 発行

憲法九条の素晴らしさを共有し、守り、活かし、世界に向けて広めていく取り組みの一つとして、思想・政党・宗教などのあらゆる違いを超えて、「憲法 9 条にノーベル平和賞を」の一点で一致し、協力して活動しています。

たくさんのご支援ご協力に心から感謝申し上げます。

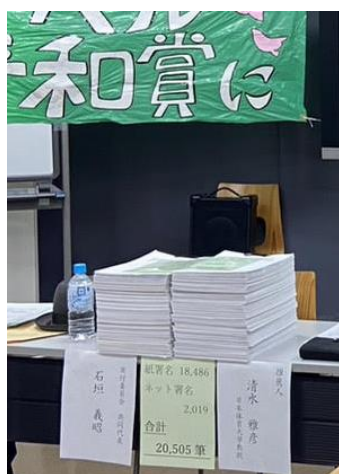
発行責任者：石垣義昭 090-9159-5363

ブログ：<http://nobel-peace-prize-for-article-9.blogspot.jp/>

メール：c.npp4a9@gmail.com

I 2023 年度の活動

日本政府は、アジアにおける軍事衝突の可能性を喧伝し、安保法制制定から進み、大軍拡予算方針、米軍と連携したミサイル基地配備などを推し進めています。大変な危機感をもった私たち実行委員会は、今年こそ、なんとしても憲法 9 条に「ノーベル平和賞」という光が当てられ、軍事力によらない平和実現路線への転換を願わずにはいられませんでした。2017 年に「国民」は対象外というノルウェー・ノーベル委員会の見解が示されましたが、国民一人ひとりが自分事として行動してほしいと願い、私たちはその後も「日本国民」を対象として推薦活動を行ってきました。しかし今年度は、候補者を特定し、「安保法制違憲訴訟全国ネットワーク(裁判闘争を通し、



世論を高め、集団的自衛権の違憲を明らかにし廃止を目指す)」と「9 条改憲 NO！全国市民アクション(総がかり行動と全国 9 条の会の連携した運動)」の 2 団体を推薦する活動に切り替えました。そして、以前の推薦人をはじめ、ネットを駆使して連絡先を探し、韓国、ノルウェー、マレーシア、シンガポールなどの国会議員やオスロ平和研究所などの推薦資格者に依頼し、最終的には 123 人の方々が推薦人になってくれました。

国会議員会館での記者会見やマスコミへのアナウンス、並行して 2 団体への推薦を支援するための署名活動も世界に呼びかけ、その集約数をノルウェー・ノーベル委員会に世論として届けてきました。皆様のご支援ご協力により、10 月 6 日までに、合計 20505 筆(紙の署名 18486 + ネット署名 2019)が集まりました。

II 2023 年 10 月 6 日 ノーベル平和賞授賞式パブリックビューイング

神奈川県相模原市のユニコムプラザにおいて実行委員会と協力者、推薦人(憲法学者・清水雅彦教授)、マスコミ(NHK、毎日新聞、神奈川新聞、共同通信)で集まりました。そして今年度の活動を振り返る時をもちました。すると皆の心の中で、もしかしたら・・・という期待が膨らんできました。皆が笑顔でした。そして 18 時からのノーベル平和賞発表を YouTube を通し、ライブで観ました。

残念ながら、私たちの推薦した 2 団体は選出されませんでした。瞬間、あー、うー、と言葉にならない声もれました。受賞者がはっきりわかると皆で拍手しました。女性に対する弾圧と闘い、人権と自由を守るために、悪政と迫害の中、身を挺して頑張っているナルゲスさんに世界の関心が向けられ、一緒に立ち上がる人々がおこ



され、取り巻く環境が良くなることを願います。いざ戦争がおこれば、殺人、暴力、レイプ、弾圧、犯罪などありとあらゆる人権侵害と環境破壊が起こり、多くの人たちが深刻な被害を受けることになります。世界中の国々で憲法 9 条が広がり、非暴力による平和的解決が当たり前の世界になることを願い、来年も活動を続けていこうと確認しました。

Ⅲ 2024年度にむけて ～来年度を最後にあと1年取り組みます！～

- ① 推薦活動…今年度も2023年度に引き続き、「安保法制違憲訴訟全国ネットワーク」と「9条改憲NO！全国市民アクション」をノーベル平和賞に推薦する活動を継続します。両団体を推薦して下さる推薦人を募集しています。（詳細は、推薦方法をご参照ください。）
- ② 広報活動…次号ニュース(24号)は、来年10月11日(金)の平和賞発表後、2025年の春ごろの発行を予定しています。その間の情報はインターネット上のブログにて発信していきますので、チェックしていただけると幸いです。
ブログ👉<http://nobel-peace-prize-for-article-9.blogspot.jp/>



★推薦の輪を広げてください（推薦方法）★

ノーベル平和賞の候補を推薦するには、推薦資格が必要です。推薦資格があり、推薦にご賛同いただける方は、ぜひ推薦人になってください。推薦資格をお持ちでない方は、資格のある方への推薦依頼をお願いします。

【推薦資格】原文サイト <https://www.nobelpeaceprize.org/nobel-peace-prize/nomination/criteria-for-nominators>

- 主権国家の国会議員、国民政府（閣僚・大臣）、および現職の国家元首
- 国際司法裁判所（ハーグ）および常設仲裁裁判所（ハーグ）のメンバー
- l'Institut de Droit International のメンバー
- Women's International League for Peace and Freedom の国際理事会のメンバー
- 歴史、社会科学、法律、哲学、神学、宗教の大学教授、名誉教授、准教授、大学学長、大学理事（またはそれに準じる者）、平和研究所および外交政策研究所の責任者
- ノーベル平和賞を受賞した者 ●ノーベル平和賞を受賞した団体の主要理事またはそれに準ずる者
- ノルウェー・ノーベル委員会の現委員および元委員（現委員による提案は、2月1日以降に開催される委員会の最初の会合までに提出されなければなりません。）
- ノルウェー・ノーベル委員会の元顧問

【推薦候補】

◆「安保法制違憲訴訟全国ネットワーク」

憲法9条は集団的自衛権を認めていないとしてきた政府解釈を、閣議決定で容認に変更し、国会の強行採決で成立した安保法制法。その違憲性を司法で問い、廃止させるため、全国22の裁判所で25件の裁判を提起。原告7699名、代理人弁護士延べ1687名の全国組織。

◆「9条改憲NO!全国市民アクション」

「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」と「九条の会」が中心に立ち上げた、草の根で行動する日本最大の平和護憲団体。「憲法改悪を許さない全国署名」と「平和、命、暮らしを壊す大軍拡、大増税に反対する請願書名」に取り組み、「9条を生かし戦争させない努力」を訴える。

※（ノーベル平和賞は同じ理由で5候補まで推薦が可能であり、3候補まで同時受賞が可能です。）

【推薦締め切り】

2024年1月31日午後12時（中央ヨーロッパ時間）

【推薦方法】 「連名」又は「個人」で推薦文を提出

●以下の推薦文(「連名推薦文」)で推薦に加わってくださる方は「連名推薦人」となります。

➡当実行委員会へ ①氏名 ②肩書き ③学術的あるいは専門的所属 の日本語表記と英語表記をご連絡ください。当実行委員会がお願いした推薦人の代表が連名推薦文と連名名簿をノーベル委員会へ送ります。

連名推薦文

戦争放棄を定めた日本国憲法9条を守り、世界に広めるため、最前線で闘っている

「安保法制違憲訴訟全国ネットワーク」と「9条改憲 NO!全国市民アクション」

を2024年度のノーベル平和賞候補に推薦します。

日本国民はアジア・太平洋戦争の惨禍を体験し、「再び戦争はしない」との決意を世界に表明するため、日本国憲法前文と憲法9条を制定しました。

しかし今、日本政府は敵基地攻撃能力保有を宣言するなど先制攻撃を可能にする方針を打ち出し、この5年間で防衛費を43兆円にする政策を遂行しています。これにより日本は米国、中国に次ぐ世界3位の軍事大国となります。これは日本国憲法を改悪あるいは形骸化して戦争する国に変えることに他なりません。

そのような厳しい情勢の中で上記の2つの団体はそれを絶対に許さず、平和憲法を死守して戦争を断固阻止する運動を続けております。

まず、「安保法制違憲訴訟全国ネットワーク」は、政府が戦争法とも呼ばれている安保法制法を2014年7月に閣議決定し、その翌年の2015年9月には国会において強行採決したことに対して、これは憲法違反そのものだとして、全国22裁判所で25件の違憲訴訟を提起しました。原告は7700名、代理人弁護士は1700名、多くの国民・市民がこれを強力に支援しています。

次に、「9条改憲NO!全国市民アクション」は日本全国の平和運動体をまとめて一本化し、憲法違反を続ける日本政府に抗議する闘いを展開しています。今までに「憲法署名」として1236万9461名の署名を集めて日本政府に提出してきました。

戦争の放棄を定める憲法9条を守り、活かし、世界に広めるために、日本の護憲・平和運動の最前に立ち続けている両団体を推薦いたします。

●上記の推薦文ではなく、個人で推薦文を書いて提出してくださる方は「個人推薦人」となります。

推薦方法 オンライン推薦フォームか、メールか、郵送で推薦文を提出してください。

【オンライン推薦フォーム】

表示される指示にしたがって、推薦人登録をして候補者の情報を入力してください。推薦の関連資料(PDFにて20MBまで)を直接ノルウェー・ノーベル委員会に提出できます。様々な推薦の理由を届けるために個人で直接推薦していただけたら幸いです。入力の詳細な説明が必要な場合は別途ご連絡ください。

【メール / 郵送】

宛先 E-mail : postmaster@nobel.no

郵送 : The Norwegian Nobel Committee Henrik Ibsens gate 510255 Oslo, NORWAY

◎メール / 郵送の場合の推薦文の内容

推薦は長い必要はないが、以下の項目をふくまなければならない。

- ★推薦候補…「安保法制違憲訴訟全国ネットワーク」と「9条改憲 NO!全国市民アクション」
- ★なぜ、その団体がノーベル平和賞にふさわしい推薦候補であると考えているのか、の説明
- ★推薦人の氏名、肩書き、学術的あるいは専門的所属

IV 署名数報告 *たくさんの皆様のご協力をありがとうございました！

<p><当実行委員会主催></p> <p>◆署名終了「戦争放棄に加え戦力も持たないことを誓った世界で唯一の日本国憲法第9条を守る活動にノーベル平和賞を授与してください。」20505 筆(紙署名 18486+ネット署名 2019)_</p> <p>◆署名終了「世界各国に平和憲法を広めるために、日本国憲法、特に第 9 条、を保持している日本国民にノーベル平和賞を授与してください。」合計73万8616筆(紙署名65万6207筆+ネット署名8万2409)</p> <p>～上記2つの署名については締め切り後に受け取った署名数もノーベル委員会へ報告します。～</p> <p>◆「安保法制は憲法違反」の判決を求めます！」合計 21,677 筆 (20,608 筆は提出済み)</p> <p>最終集約2024年8月末</p> <p><推薦団体:改憲 NO! 全国市民アクション 主催></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「憲法改悪を許さない全国署名」 850 筆を提出。 ● 平和、いのち、くらしを壊し、市民に負担を強いる軍拡、増税に反対する請願署名」 786 筆を提出。 	
--	--

V 会計報告 2018,11月～2023,10月 *カンパのご協力をありがとうございました！

	年度 項目	2019～2022 年度 (コロナ禍による活動 休止期間を含む)	2023 年度	内訳
収入	カンパ	791,465	166,681	振替口座・郵送・直接カンパ
	雑収入	33	6	利子
	前期繰越金	984,016	885,857	
	合計	1,775,514	1,052,544	
支出	通信費	151,549	267,578	郵送、携帯電話
	会場費	20,720	15,120	パブリックビューイング、会議
	事務・消耗費	23,170	25,695	紙、封筒、宛名シールなど
	旅費・交通費	252,000	0	韓国平和フォーラムなど
	謝礼費	70,000	0	パブリックビューイング旅費など
	活動費	324,129	335,334	印刷(ニュース、署名用紙、推薦依頼文、資料)、翻訳など
	備品費	10,180	6,900	書籍、CD
	雑費	37,909	31,020	他活動への連帯、著作物利用、振込手数料など
	合計	889,657	681,647	
次期繰越金		885,857	370,897	

▶当実行委員会はカンパとボランティアで運営しております。引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

▶カンパ振込先 郵便振替口座 加入者名 「憲法9条にノーベル平和賞を」実行委員会
口座記号番号 00200-4-52540

日本から私たちが
できるパレスチナ
連帯行動サイト↓



日本にいながらパレスチナでの停戦を求めて連帯できることがわかりやすく掲載されているサイトがあります。よかったら右記 QR コード読み込んでみてください。引き続き、憲法9条を掲げ、戦争のない世界を願いそれぞれできることを行動していきましょう！